

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
神戸医療福祉専門学校 三田校	平成9年3月26日	澤村 誠志	〒669-1313 兵庫県三田市福島501-85 (電話) 079-563-1222				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人神戸滋慶学園	平成4年1月13日	覚野 博夫	〒669-1313 兵庫県神戸市中央区加納町2丁目5番1号 (電話) 078-221-8026				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士			
教育・社会福祉	社会福祉専門課程	整形靴科	平成16年2月17日 文部科学大臣告示第17号	-			
学科の目的	医療・健康・福祉の視点から、その人に合った靴を選ぶだけでなく、医学的知識・靴専門知識をもとに足のカウンセリング、靴のデザイン、調整、足の採型から木型を起し、整形靴の製作までを行うハイレベルな足と靴の専門技術者の養成を目指しています。						
認定年月日	平成26年3月31日						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1845時間	360時間	405時間	1080時間	0時間	0時間
生徒総定員	生徒実員	留学生数 (生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	32人	0人	4人	7人	11人		
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験は各学期ごと又は科目終了時に行い、試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格点とする。			
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:8月11日～8月17日 ■冬季:12月26日～1月5日 ■学年末:3月31日		卒業・進級 条件	本校所定の課程を修了し、出席日数をみたし、試験に合格した者。			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 3日以上欠席が続いた場合は、担任が保護者に連絡し、理由を把握すると共に、必要であればカウンセラーにつなぎ、原因を把握した上で、適切な対応をしている。		課外活動	■課外活動の種類 整形靴ギャラリー  ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)			
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(令和3年度卒業生) 整形靴製作企業、健康靴小売店等		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	資格・検定名			
	■就職指導内容 就職セミナーの開催・就職対策講座・模擬面接、企業説明会の開催			種別	受験者数	合格者数	
	■卒業生数	21人					
	■就職希望者数	21人					
	■就職者数	17人					
	■就職率	81%					
	■卒業者に占める就職者の割合	81%					
	■その他 ・進学者数: 0人						
	(令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)						
中途退学 の現状	■中途退学者 0名 令和3年4月1日時点において、在学者35名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者35名(令和4年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由、進路変更他		■中退率 0%				
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 神戸医療福祉在学援助奨学金:突発的な経済的事情で学業継続が困難であり、かつ本校の定める成績基準を満たしている在校生が対象。 学費を上限とした額で無利子。(但し、在学中に1回のみ) ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 前年度の給付実績者数: 12人						
第三者による 学校評価	評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)						
当該学科の ホームページ URL	https://www.kmw.ac.jp/gakka/of/						

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」とは、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まれません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学者

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

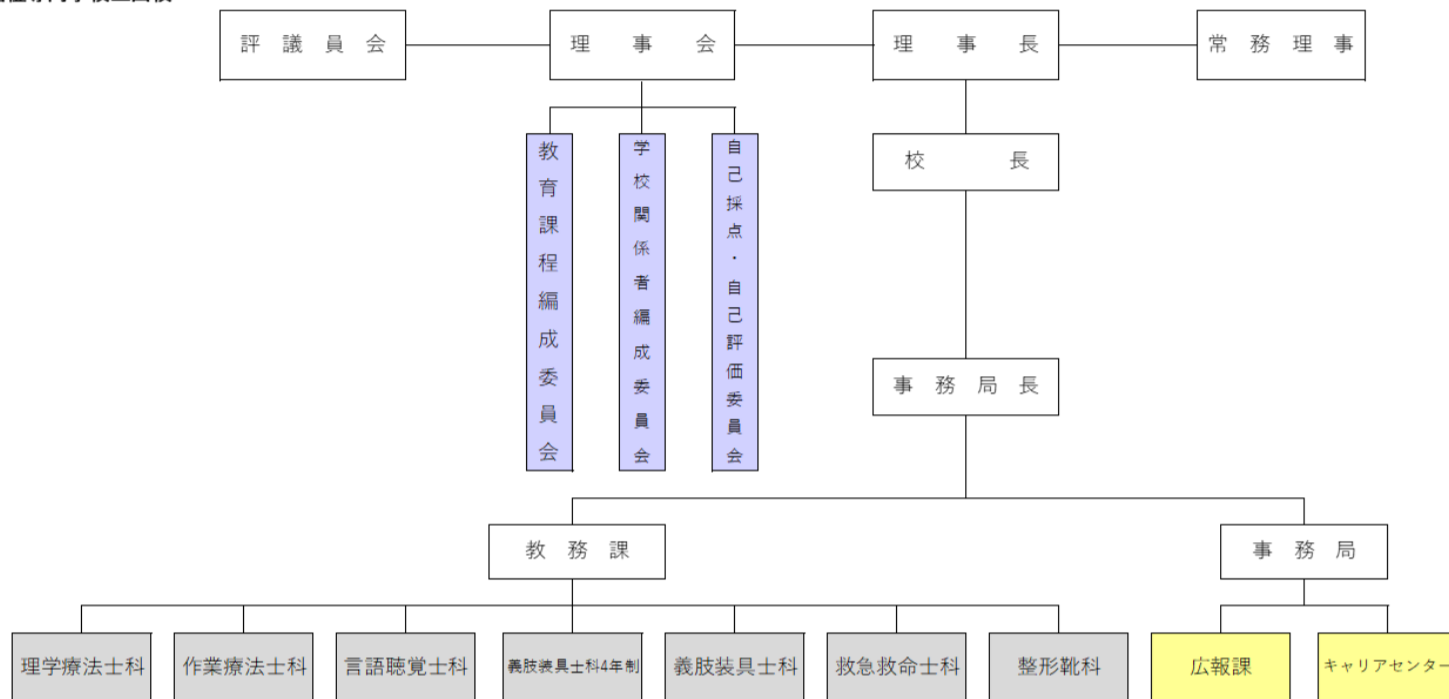
業界との連携について、学生それぞれを配置する臨床実習先の専門職を実習指導者に就任していただき、実習開始前には本校に集合していただいた上で、本校の建学の理念、学科の養成目的、臨床実習の目的を説明させていただき、臨床実習での指導をおこなっていただいています。教育課程編成委員会においても、業界関係者からの意見を、より詳細に教育内容に反映させるように見直している。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本校の教育課程編成委員会は理事会のもとに設置しており、委員長は、委員会で出された意見を集約し理事会に報告している。カリキュラム変更等は評議員会、理事会で決議し教育内容に反映させている。

学校法人神戸滋慶学園  
神戸医療福祉専門学校三田校



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
齋藤 満知子	学校法人 神戸滋慶学園 常務理事	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	
澤村 誠志	神戸医療福祉専門学校三田校 校長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	
今在家 信司	神戸医療福祉専門学校三田校 事務局長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	
岡田 大地	神戸医療福祉専門学校三田校 理学療法士科副学科長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	
山下 真吾	神戸医療福祉専門学校三田校 作業療法士科副学科長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	
今岡 康人	神戸医療福祉専門学校三田校 言語聴覚士科学科長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	
椰木 千代美	神戸医療福祉専門学校三田校 救急救命士科学科長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	
佐々木 伸	神戸医療福祉専門学校三田校 義肢装具士科・義肢装具士科4年制学科長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	
辻野 道子	神戸医療福祉専門学校三田校 整形靴科学科長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	
正木 健一	一般社団法人 兵庫県理学療法士会 財務部部长	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	①
堤 万佐子	兵庫県宝塚市向月町19番5号 医療法人 尚和会 宝塚第一病院	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③
田川 和人	みきやまりハビリテーション病院 療法部主任	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③
中村 太一	医療法人社団薫楓会 緑駿病院 作業療法士室長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③
大和 健一郎	さんだりハビリテーション病院 療法室長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③

門脇 誠一	一般社団法人兵庫県作業療法士会 理事(副会長)	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	①
恩田 光平	兵庫県言語聴覚士会 理事	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	①
吉田 泉	社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団 あわじ荘 支援課	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③
田畑 隆太	緑駿病院 リハビリテーション室 室長 言語聴覚士	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③
太田 宗夫	一般社団法人 全国救急救命士教育施設協議会 顧問	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	①
秋田 健太郎	医療法人沖繩徳洲会 神戸徳洲会病院 救急救命士科	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③
川端 雅生	一般社団法人 日本義肢協会 近畿支部 研修委員	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	①
石原 栄治	公益社団法人 日本義肢装具士協会 副会長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	①
植田 幸一	橋本義肢製作 株式会社 第2装具課 課長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③
藤原 誠文	株式会社 アルフィット 代表取締役	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③
栗林 薫	日本整形靴技術協会 顧問	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	①
眞殿 浩之	川村義肢株式会社 製造部 製靴科 主任技師	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回開催する。(毎年6月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 2021年6月26日(土) 15:00～17:00

第2回 2022年2月12日(土) 14:10～16:10

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

学生の卒業後の進路に対するモチベーション向上のために、入学前教育、導入教育の見直しを行う。また、同窓会が実施している卒業研修会での症例発表会や学会等への参加をより積極的に促す。竜野市皮革まつり・卒業制作発表会等企業とのコラボした、事業の展開の継続を希望する。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

健康靴の販売や整形靴製作に関連する企業で学外実習を行うに適切な器具機械を備え、学生1人に対し1人以上が指導者として担当する体制可能な施設を選定している。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

5週間にわたり、実習先での業務(製作補助、販売補助、病院への同行など)や様々な製作方法での靴作りの指導を頂いている。出欠は日々の日誌の提出と実習先担当者様の押印によって確認する。成績評価は、「実習報告書の提出」「学外実習報告会でのプレゼンテーション」、「実習先からの評価」を総合してつける。学外実習報告会に実習先の方にも臨席いただき、ご指導と評価をいただく。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
学外実習	実習先の業種に合わせた業務(見学・製作・販売・補助的業務等)を体験する。毎日、実習内容についての考察を加えた実習日誌を作成し、実習担当者の押印をいただく。実習後、実習日誌、テクニカルレポートを含む実習報告書を作成し、学校へ提出する。実習内容は、PPTデータにまとめ、学外実習報告会において、実習先の担当者、教員、下級生の前でプレゼンテーションする。	株式会社 洛北義肢、川村義肢株式会社、株式会社 澤村義肢製作所、株式会社 アシックススポーツ工学研究所、有限会社 OSMヘルプスト (総数25件)

<p>3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係</p>		
<p>(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針      学園の定める教員研修規程において、教員の授業内容・教育技法の改善並びにクラス運営方法の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の目的と定めています。また、教員の専門知識・技術の向上の為にそれぞれの専門の学会や業界の研修会への積極的参加を促しています。学科にて教員全てが研修を受けるように、計画している。</p>		
<p>(2)研修等の実績</p>		
<p>①専攻分野における実務に関する研修等</p>		
<p>研修名「第35回日本靴医学会学術集会」(連携企業等:日本靴医学会)      期間:令和3年9月3日(金)～4日(土) 対象:医療・福祉・保健・教育・義肢装具製作所・靴関連企業等      内容:靴医学分野に関する日本靴医学会主催の学術集会</p>		
<p>研修名「第2回日本フットケア・足病医学会年次学術集会」(連携企業等:日本フットケア・足病医学会)      期間:令和3年12月4日(土)～5日(日) 対象:医療・福祉・保健・教育・義肢装具製作所・靴関連企業等      内容:整形靴技術分野に関する日本整形靴技術協会主催の学術集会</p>		
<p>研修名「第17回 日本整形靴技術協会学術大会」(連携企業等:日本整形靴技術協会)      期間:令和4年2月19日(土)～3月11日(金) 対象:医療・福祉・保健・教育・義肢装具製作所・靴メーカー・靴小売業      内容:整形靴技術分野に関する日本整形靴技術協会主催の学術集会</p>		
<p>②指導力の修得・向上のための研修等</p>		
<p>研修名「2021年度マネジメント研修」(連携企業等:一般財団法人 滋慶教育科学研究所)      期間:令和3年10月19日(火) 対象:教員      内容:学生支援に関する教員研修</p>		
<p>研修名「カウンセリング研修」(連携企業等:一般財団法人 滋慶教育科学研究所)      期間:令和3年10月25日(月) 対象:教員      内容:学生支援に関する教員研修</p>		
<p>研修名「第28回滋慶教育科学学会」(連携企業等:一般財団法人 滋慶教育科学研究所)      期間:令和3年12月7日(火) 対象:教員      内容:教員に関するFD研修会</p>		
<p>(3)研修等の計画</p>		
<p>①専攻分野における実務に関する研修等</p>		
<p>研修名「第35回日本靴医学会学術集会」(連携企業等:日本靴医学会)      期間:令和4年9月2日(金)～3日(土) 対象:医療・福祉・保健・教育・義肢装具製作所・靴関連企業等      内容:靴医学分野に関する日本靴医学会主催の学術集会</p>		

研修名「第3回日本フットケア・足病医学会年次学術集会」(連携企業等:日本フットケア・足病医学会)  
 期間:令和5年2月11日(土)～12日(日) 対象:医療・福祉・保健・教育・義肢装具製作所・靴関連企業等  
 内容:下肢救済・フットケア分野に関する日本フットケア・足病医学会主催の学術集会

研修名「第18回 日本整形靴技術協会学術大会」(連携企業等:日本整形靴技術協会)  
 期間:令和5年2月25日(土)～26日(日) 対象:医療・福祉・保健・教育・義肢装具製作所・靴メーカー・靴小売業  
 内容:整形靴技術分野に関する日本整形靴技術協会主催の学術集会

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「神戸滋慶 Teams研修」(連携企業等:株式会社 ブレーンスタッフコンサルタンツ)  
 期間:令和4年7月13日(水) 対象:教員  
 内容:学生支援に関する教員研修

研修名「神戸滋慶教職員研修」(連携企業等:神戸滋慶学園)  
 期間:令和4年12月 対象:教員  
 内容:教員のFD研修会

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

卒業生、保護者代表、近隣関係者、高校関係者、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校教職員が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価することを通し、学校運営の改善に生かすことを方針としています。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	(11)国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

中途退学率の改善が必要との指摘から、メンタル面、学習習慣や学習能力面についての学生サポートアンケートを活用し、問題の早期発見や担任による補講契約や面談を実施している。また、カウンセリングやキャリア教育に携わる教職員に対するサポートや研修も実施している。特に当学科は実習において学生メンタル面が弱い傾向があるとの指摘において、社会人基礎力を強化するカリキュラムを作成した。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
中村 元樹	理学療法士科卒業生・平島病院 リハビリテーション科	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	卒業生
柿本 香代子	言語聴覚士科4年生の保護者	2022年4月1日～ 2023年3月31日(1年)	保護者代表
川崎 万紀代	学校法人百合学院中学校・高等学校 校長	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	高等学校 関係者
田中 加代子	特定非営利活動法人言語障害者の社会参加を支援する会しゃべろーよ 地域活動支援センター	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	企業等委員
正木 健一	兵庫県理学療法士会 財務部 部長/株式会社ヌーベルバーグ 介護ショップ 蓮	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	企業等委員
川端 雅生	一般社団法人 日本義肢協会 近畿支部 研修委員/株川端技術所 代表取締役	2022年4月1日～ 2024年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL:

公表時期: 令和4年6月30日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校で毎年作成している事業計画の実行方針では目標(カリキュラムの検証、中途退学防止、卒業後の離職防止等)を具現化するため、学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会の委員の方からの意見をもとに、実行計画を作成している。企業等への具体的な情報提供方法としては、講師会議やホームページを通じて、教育活動その他の学科運営の情報に関する情報の提供を行っています。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	建学の理念、校長名、所在地、連絡先、教育目標、学校の沿革
(2) 各学科等の教育	入学者に関する受け入れ方針及び入学者数、収容定員、在学学生数、教科目標、教科課程、進級・卒業の要件、資格、検定、実績、卒業生数、卒業後の進路、各学科のシラバス
(3) 教職員	教職員数、組織図
(4) キャリア教育・実践的職業教育	教育システム、実習・実技等の取組、就職支援の取組
(5) 様々な教育活動・教育環境	学年暦、学校行事の取組状況、設備紹介
(6) 学生の生活支援	学生支援の取組
(7) 学生納付金・修学支援	学費、学費サポート
(8) 学校の財務	資金収支計算書、事業活動収支計算書、財産目録、貸借対照表、監査報告書
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果、学校関係者評価委員会議事録
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページに明記している。

URL: <http://www.kmw.ac.jp/gakko/joho/>

## 授業科目等の概要

(社会福祉専門課程 整形靴科) 令和4年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			キャリアガイダンスⅠ	就職についての基本的な知識や整形靴技術者の職業倫理等について学ぶ。	1通	15	1	○			○			○	○
2	○			キャリアガイダンスⅡ	就職についての基本的な知識や整形靴技術者の職業倫理等について学ぶ。	2前	15	1	○			○			○	○
3	○			美術	靴製作者に必要な芸術のセンス・素養を身につける。	1前	30	1		○		○			○	
4	○			デザイン	靴製作者に必要な芸術のセンス・素養を身につける。	1通	30	1		○		○		○	○	
5	○			外国語	生きた英会話力を養い、併せて国際社会に対応できる感覚を身につける。	2通	15	1	○			○			○	
6	○			情報処理	基本的なコンピュータの使い方を学ぶ。ワープロ・表計算ソフトの使い方を学ぶ。	1前	15	1	○			○			○	
7	○			義肢装具学	義肢装具について学ぶ。	2前	15	1	○			○		○		
8	○			関係法規	整形靴技術者として必要な業務に関係する医療・福祉の法律について学ぶ。	2前	15	1	○			○			○	
9	○			運動学	運動生理を中心に人体を系統的に学ぶ。	1通	15	1	○			○			○	
10	○			機能解剖学	人体の構造、形態を系統的に学ぶ。	1通	60	4	○			○		○		
11	○			整形外科学 (足と脚の変形)	足と脚の変形など整形外科学について学ぶ。	2通	30	2	○			○			○	
12	○			リハビリテーション医学	リハビリテーション医学一般及び機能訓練について学ぶ。	2後	15	1	○			○			○	

13	○		靴材料学	靴についての材料知識を学ぶ。	1 前	30	2	○			○		○	
14	○		靴専門知識	靴についての専門知識の基礎を学ぶ。	1 後	15	1	○			○			○
15	○		整形靴概論	整形靴についての専門知識の基礎を学ぶ。	1 後	15	1	○			○			○
16	○		靴デザイン学	靴デザインについての専門知識を学ぶ。	1 前	30	2	○			○		○	
17	○		足情報収集論	靴の製作に必要な足の情報収集の方法論について学ぶ。	1 通	60	2		○		○		○	
18	○		整形靴理論	整形靴製作についての基本理論を学ぶ。	2 前	30	2	○			○		○	
19	○		基本工作論	靴の製作に必要な基本的工作技術について学ぶ。	1 前	30	1		○		○		○	○
20	○		靴修理	靴の修理を通して、靴の構造や材料について学ぶ。	1 前	45	1			○	○		○	
21	○		健康靴と調整	健康靴製作に必要な理論と調整方法について学ぶ。	1 前	45	1			○	○		○	
22	○		靴調整特論	健康靴製作に必要な理論と調整方法について学ぶ。	2 後	15	1	○			○		○	○
23	○		足底板製作Ⅰ	プレハブ式、カスタムメイドなどさまざまな足底板の製作について学ぶ。	1 前	45	1			○	○		○	
24	○		足底板製作Ⅱ	スポーツ用、リウマチ用などさまざまな足底板の製作について学ぶ。	2 後	45	1			○	○		○	○
25	○		足底板演習	小児の足底板などさまざまな足底板の適合について学ぶ。	1 後	30	1		○		○		○	
26	○		木型調整	靴の製作に必要な既成の木型の加工方法について学ぶ。	1 通	45	1			○	○		○	
27	○		靴製作実習Ⅰ	第1回目の靴の製作。Slipperの製作を通して、靴製作についての基礎的な理論と実際を学ぶ。	1 後	45	1			○	○		○	



28	○		靴適合演習	セメント方式による基本的な短靴の製作方法について学ぶ。	1後	30	1		○		○		○		
29	○		靴製作実習Ⅱ	セメント方式による基本的な短靴の製作方法について学ぶ。	1後	45	1			○	○		○		
30	○		靴製作実習Ⅲ	セメント方式による基本的な靴の製作方法について学び、実践的に製作を行う。	2通	90	2			○	○		○	○	
31	○		パターンデザインⅠ	採寸値からの型紙の起こし方について学ぶ。	1前	45	1			○	○		○	○	
32	○		パターンデザインⅡ	木型からの型紙の起こし方について学ぶ。	1通	45	1			○	○		○	○	
33	○		製甲Ⅰ	製甲について必要な理論と製作について学ぶ。	1前	45	1			○	○		○	○	
34	○		製甲Ⅱ	製甲について必要な理論と製作について学ぶ。	1通	45	1			○	○		○	○	
35	○		木型製作Ⅰ	木型製作に必要な理論と製作について学ぶ。	2前	45	1			○	○		○	○	○
36	○		木型製作Ⅱ	木型製作に必要な理論と製作について学ぶ。	2前	45	1			○	○		○	○	○
37	○		木型製作Ⅲ	木型製作に必要な理論と製作について学ぶ。	2前	45	1			○	○		○	○	○
38	○		整形靴Ⅰ	整形靴製作学。外反母趾・扁平足など軽度の変形や障害について学ぶ。	2前	90	2			○	○		○	○	○
39	○		整形靴Ⅱ	整形靴製作学。脚長差・股関節脱臼など重度の変形や障害について学ぶ。	2後	90	2			○	○		○	○	○
40	○		整形靴Ⅲ	日本国内で行われている、セメント式による靴製作方法について学ぶ。	2前	45	1			○	○		○	○	○
41	○		整形靴Ⅳ	2年間で学んだ技術の集大成として靴製作の試験を行う。	2後	60	2		△	○	○		○	○	○
42	○		卒業製作	2年間で学んだ知識、技術の集大成として靴製作などを行う。	2通	90	3		○	△	○		○	○	○

43	○		学外実習	靴製作施設、小売店等での約5週間の実習を通して、靴製作販売の場で求められる知識、技術を学ぶ。	2 前	##	3			○	○	○	○	○	○
44	○		接客販売演習 I	販売業務の実際を演習を通し学ぶ。	1 後	30	2			○	△	○		○	○
45	○		接客販売演習 II	販売業務の実際を演習を通し学ぶ。	2 後	15	1			○	△	○	○	○	○
46	○		海外セミナー	海外の靴の技術、文化を学ぶ。	2 後	15	1	○			△		○	○	○
合計						46科目	1845単位時間(63単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
本校所定の課程を修了し、出席日数をみだし、試験に合格した者。 授業に出席し、成績の評価において60点以上の場合に科目が認定される。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	20週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。